

伊牟田経正 (1934~2018) は、鹿児島市出身の洋画家です。1953年から光風会美術研究所に学び、光風会や日本美術展覧会で活躍しました。

写実的な表現を追求した伊牟田の初期の作品である本作。ブルーグレーの背景には月のような円形が淡く浮かび、机上の卵が入ったグラスや落ち葉は、そこに存在するかのよう、質感や影まで緻密に描かれています。小さな落ち葉は机から落ちそうな様子で前面にせり出し、見る人に緊張感を与えます。このようなだまし絵的表現は、モチーフの実在感を強調し、見る人を絵の世界に引き込む工夫として、北方ルネサンスやバロックの美術に多く用いられました。

細部まで画家の技巧が光る本作は、5月21日(火)からの収蔵作品展「空間知覚」で展示予定です。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

## 「或る風景」

伊牟田 経正 作 (1970年)



営業部課長 長友勇樹さん

昭和45年に創業した株式会社山崎紙源センター。古紙のリサイクルからスタートし、現在では宮崎県内を中心とする13拠点でリサイクルや廃棄物処理を行っています。  
都城営業所は同社の中でも処理品目が多く、県内各地で回収された廃棄物が集約されています。廃棄物の中間処理の役目を担う同社では、選別や一時加工を行いリサイクル製品の原料として出荷。再資源化が難しいものは圧縮・粉碎して燃料にする

「思いが込められた品々を取り扱うので、社員の身だしなみや物の運び方にも注意を払い、誠心誠意対応しています」と語るのは、営業部課長の長友勇樹さん。長友さんは7年前に遺品整理士の資格を取得。丁寧に事前ヒアリングを行い、整理や廃棄のほか、リユースのサポートを行っています。  
「今後も新たなサービスや廃棄物処理設備を整備し、皆さんの暮らしとともに歩む企業でありたい」と将来の展望を語る長友さんの瞳には、美しい地球を次世代へ引き継ぐ揺るぎない決意が輝いていました。

都城をけん引する企業を紹介

# 企業の力

Vol.44

株式会社  
山崎紙源センター  
都城営業所

☎23-5731



工場見学を実施していて、選別の大切さを発信

など、最終処分場の負担軽減につなげています。  
また、同社では廃棄物処理のノウハウを生かし、「少子高齢化社会に寄り添うサービス」遺品整理・生前整理」を開始。県内からのニーズが高く、年間千件以上の対応を行っています。

## History exploration | 歴史探訪!

### 輪宝墨書土器

古代インドの投擲用武器で、後に仏教において邪悪なものを除く道具として広く使われてきた「輪宝」。都城跡の調査で出土した本土器は、土師器環と呼ばれる素焼きの土器の内面に、この輪宝が墨で描かれ、その中央と底面に梵字が書き入れられています。

出土の際、都城跡本丸（現都城歴史資料館）の北側で検出された長方形に並ぶ四つの柱穴の中に、それぞれ一点ずつ埋納されていた本土器。こうした埋納の状況や梵字の模様から、城内で建物を建てる際に、地鎮に用いられたものと考えられていて、安永城跡本丸（庄内町）でも一点出土しています。

本資料により中世城郭における地鎮めの具体的な様子をうかがい知ることができます。

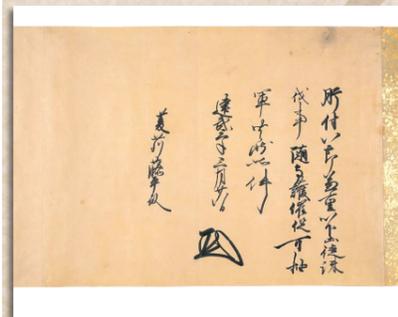
※本資料は、都城歴史資料館で展示中



都城跡出土の輪宝墨書土器

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

### 足利尊氏御教書



## 都城島津 伝承館 だより

### 「足利尊氏御教書」(菱刈文書)

建武3(1336)年3月28日付で、足利尊氏が自らの花押を記し、大隅国の一部を支配していた菱刈藤平に宛てた本書状。南朝方として都城盆地および大隅国方面で活発に動いていた肝付兼重とその一派を追討するため、当時守護職にあった島津本家5代当主島津貞久の命に従い出兵するよう命じる内容が記されています。同じく、足利尊氏は島津家の家臣で大隅国方面に影響を持っていた本田家にも同様の書状を送っていて、その書状も都城島津邸に保管されています。

後醍醐天皇から離反し一時九州に逃れていた足利尊氏は、建武3年4月に京を目指して進軍を開始。南九州の不穏な動きを封じるため、大隅国周辺の有力な武将らに尊氏方として動いていた島津家と共に戦うよう、働きかけていたと考えられます。本史料により当時の南九州における各武将たちの動静をうかがい知ることができます。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

## 今月の読者プレゼント



### 県産小麦のスコーン4種セット 3人

プレゼント提供事業者

PARKmiyakonojo (高城町桜木1662番地1) ☎080-1298-5289

「楽しく食べて、楽しく生きる」をコンセプトに、県産無農薬小麦や平飼い有精卵など、素材にこだわったスコーンをプレゼント。体に優しい絶品の手作リスコーンは、ギフトにもお薦めです。



Instagram

### プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、5月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 5月31日(金) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙7月号
- ◎3月号当選者 濱田真也さん ほか2人
- ◎3月号応募総数 217通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

### POST CARD

63円切手をお貼りください

8 8 5 8 5 5 5

## 都城市役所 秘書広報課 行

(広報都城 No.221 2024年5月号)

フリガナ

氏名

ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、イニシャルで表示させていただきます

住所 □□□□□□□□

電話番号 ( ) -

▶点線に沿ってお切りください(郵便はがきでも可)

# 私の夢

ふくなが ゆいり  
福永 唯莉さん 庄内小6年

みんなの笑顔をつくれるような  
パティシエールになりたい



## 都 城市 現 住 人 口

令和6年4月1日現在	前月比	前年比
世帯数 73298世帯	(536)	(1592)
人口総数 159474人	(658)	(1920)
男性 75015人	(313)	(1041)
女性 84459人	(345)	(879)

スマートフォンからも統計情報を確認できます。



※令和2年国勢調査に基づく推計人口

## 編集後記

今年も多くの人で賑わった市内の桜の名所。季節の移ろいに敏感な私たちは、春になれば桜を、秋になれば紅葉を愛でます。一方で、桜も紅葉も僅かな時間でその美しさを失ってしまいます。春の訪れに心躍る中、ひととき限りの美しさを目の前にして、幾ばくか感傷的な気持ちに浸りながらカメラのシャッターを切りました。(博)

関之尾公園がリニューアルし、スノーピーク直営のキャンプフィールドがついにオープン。毎年過ごしやすい季節になるとキャンプに繰り出す我が家にとって、待ちに待った施設のオープンにワクワクが止まりません。都城の自然を感じながら、さまざまな楽しみ方ができる施設。たくさんの人から愛される場所になってほしいです。(つ)

端午の節句に優美な姿で風に舞い、まちを彩るこいのぼり。我が家でも毎年、息子たちと楽しみながら組み立てています。また、この時期に祖母が作るあくまきを食べる瞬間は心温まる家族の絆を感じます。江戸時代から続くこれらの行事。親が子に健康であってほしいと願う思いは、昔も今も変わらないものですね。(賢)

# 都城フィロソフィ 25

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第3章 燃える集団となる

## スピード感を持って決断し、行動する

仕事を進める上で、スピード感は最も重要な要素の一つです。

特に、私たちは市民の安心・安全を確保する仕事をしているため、スピード感を持って決断し、行動することを意識しなければなりません。

決断や行動が遅れると、絶好の機会を逸してしまい、十分な成果が得られない可能性もあります。機を逃さずに当初から迅速に行動し十分な成果を上げるためには、常に仕事の進捗や周りの状況に目を配りながら、真剣に仕事に取り組むことが重要です。

このことが、周りの人を巻き込み、組織全体のスピードアップにもつながっていきます。

## 届けたい都城の風景



「庄内川のこいのぼり」(庄内町)



「早水公園」(早水町)

東北楽天ゴールデンイーグルスとの一戦を、都城一色に染まっただームで観戦しませ



染まる一日  
7月5日(金)から3日間にわたり福岡PayPayドームで開催する福岡ソフトバンクホークス公式戦「みやこんじょPR課」を最終日となる7日(日)は「都城DAY」を開催し、会場地元特産品のふるまいなどにより「肉と焼酎のふるさと都城」を対外的にPRします。  
都城DAYでは、試合観戦者を募集します。

## 観戦者100人を募集! ※3塁側A指定席

◎対象 市内在住の人 ※高校生以下は保護者同伴

◎申込方法 申し込みフォームまたははがきに参加者全員の住所、氏名、年齢、代表者の電話番号、メールアドレスを記入し、5月28日(火)必着でみやこんじょPR課(〒885-8555)

※1組4人以内で申し込み。応募多数の場合、抽選

◎その他 3歳以下の子どもは膝上観戦無料。チケット代以外(交通費・宿泊費など)は自己負担



申し込みフォーム



観光地や遊び場、イベント、グルメスポットなど、楽しめる場所・モノ・コトを紹介!

福岡PayPayドームで幸せ上々

◎問い合わせ  
みやこんじょPR課 ☎23-2615

## 新刊紹介

## おすすめ図書

◎問い合わせ  
市立図書館 ☎22-0239  
高城図書館 ☎58-4224



### しっぽばなし

アヌーシュカ・ラビジャンカール(文)、ツジャー・ワイエダ、マユール・ワイエダ(絵)、谷川俊太郎(訳)、世界文化ワンダークリエイティブ(出版)

自分のしっぽにうんざりした猫が、理想のしっぽを探しに旅に出ます。インドの出版社が紙をすき、染め、一色ずつシルクスクリーンプリントした一冊。

### 図書館は生きている

パクキスク(著)、原書房(出版)

元図書館司書で、世界各地の図書館を訪ねて旅する図書館愛好家である著者によるエッセイ。旅先のリストに加えたいくなるちょっぴり変わった図書館が見つかるかもしれません。

【市立図書館】 ●休館日/6月4日・5日  
●開館時間/9:00~21:00

【高城図書館】 ●休館日/5月3日・4日・7日・14日・19日・21日・28日、6月4日・11日・16日  
●開館時間/9:30~18:00

## まちなか de わくわく

## シルクスクリーンでEnjoy day!!(無料)



市立図書館の2階にあるFashion Labを知っていますか。印刷技法の一つである「シルクスクリーン」の道具がそろっていて、思い思いに表現を楽しめる場所です。「Enjoy day!!」はFashion Labの開放日。この機会に自分だけのオリジナルアイテムを作ってみませんか。

■日時 5月18日(土) 10時~15時  
■持参物 Tシャツやバッグなど刷りたい布製品(綿や麻の自然素材で平らな面があるもの)

◎問い合わせ 市立図書館 ☎22-0239